

第 11 回岡山県マーチング&バトンステージフェスティバル 審査規定 ～マーチングバンドの音部～

1. 審査・講評内容

(1) 演奏技術

①ピッチ・音程・音色・和音	<ul style="list-style-type: none"> ・チューニングされた響きの良い音 ・音程の正しい旋律 ・適切なピッチの打楽器 ・それぞれの楽器の特性のある音 ・純正調による美しい適切なバランスの和音
②リズム	<ul style="list-style-type: none"> ・整然とそろったリズム ・統一されたアーティキュレーション
③打楽器の奏法	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のある奏法 ・管楽器とのバランスを考えた奏法 ・基礎の技術

(2) 演奏表現

①音楽表現の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のあるテンポとテンポ変化 ・統一感のある音量と音量の変化 ・効果的なアゴーギグや歌い方
②バランス	<ul style="list-style-type: none"> ・各声部の効果的なバランス ・打楽器と管楽器の適切なバランス
③アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現に関する統一感 ・テンポに関する統一感

(3) 動きと全体的効果

①音楽と動きの調和 その表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・作品、音楽を理解した身体表現 ・視覚と聴覚の一体性 ・観客への作品アピールやショーマンシップ
②姿勢とボディーワークの 統一	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感のある基本姿勢と動作 ・楽器ごとの構え方や基本動作
③ポジションワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・図形を理解したポジションワーク

審査担当者と観点

篠原 修 先生	演奏技術・演奏表現・動きと全体的効果
鈴木 夕貴先生	演奏技術・演奏表現・動きと全体的効果
北田 有加先生	動きと全体的効果

2. Div1 の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。
- (2) 各項目の3つの観点（北田先生は1項目）についてA～Eの5階評価を集計する。
- (3) 審査委員会（審査委員長、M 理事長、審査員）において、審議をして、金銀銅賞を決定する。
- (4) 中学校、高等学校は、3団体以上のエントリーがあったので、もっとも優秀な1団体に審査員特別賞を授与する。

3. Div2 の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、申告時間を遵守すること。
- (2) 審査方法は、Div1 に準ずる
- (3) 同一カテゴリーに3団体以上のエントリーがあった場合、もっとも観客を魅了したと判断された1団体にフェスティバル賞を授与する。

※すべての部門でICレコーダ審査を行う。

審査音声には、今後の活動の参考となるようなアドバイスを中心とした全体的な面での評価を録音します。